

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	転移性大腸腫瘍の形態学的特徴と診断
研究責任者 (所属科名)	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
本研究の目的・意義	転移性大腸腫瘍は、隣接あるいは非隣接臓器の悪性腫瘍が大腸へ転移したものを指しますが、極めて少ない疾患であり、また多彩な形態を呈するため診断が困難なことがあります。 本研究では、転移性大腸腫瘍の臨床的特徴や形態学的特徴を解析することで、原発臓器や浸潤様式との関連を解明します。この結果により、転移性大腸腫瘍やその原発巣の診断と、それによる迅速な治療介入を可能とする意義を有します。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2010年1月から2021年12月 研究期間：(倫理委員会承認後)～2023年12月31日までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2010年1月から2021年12月の間に、転移性大腸腫瘍と診断された患者さん。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	広島大学病院、県立広島病院
本研究の資金源 (利益相反)	研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院

	研究担当者：消化器内科 部長 朝山 直樹 電話：082-815-5211
備考	